

2020年度PF SAXS-UG会議 2020.9.30

zoom による遠隔 16:00-

議題

1. 今回会合の目的について
2. 2020年第一期の運転(リモート、出張)の総括アンケートなど
3. 2020年第二、三期のPF運転に関連する諸事項
-注意事項、第3期、2021期課題申請関連など
4. PFシンポジウムに関連して
5. 課題責任者・分担者からの質疑

今回の会合の目的について

- 1) SAXSの第一期に関する総括情報の共有
 - A 運営側から見た課題や提案
 - B アンケート結果(本日PFより送付)
 - C ユーザ側からの提案や意見、課題
- 2) 第2期のビームタイムの注意事項などの連絡
 - A 実験手順に関する注意事項(事前、対コロナ、その他)
 - B 出張/リモートにおける注意事項
 - C その他(感染判明時の方針など)
- 3) PFシンポでの情報共有と議論
 - A PF-PACの分類変更など
 - B 将来計画に関連して: BLスクラップ&ビルド、次期計画その他

0.幹事会体制（5月UG会議で承認）

- 3月のUGミーティング提出予定事項

UG規程(幹事会での推薦/承認)

代表： 奥田浩司(京大工)金属

櫻井先生は幹事に留任

副代表： 上久保裕生(奈良先端大) 生命・生物

山本勝宏 (名工大) ソフトマター

- * 幹事(2019からの継続5名、新規1名)

菱田真史(筑波大)脂質 小川紘樹(京大化研)高分子

小田隆(立教大)生命・生物 井上倫太郎(京大複合研)生命生物

石毛亮平(東工大)高分子 森田剛(千葉大)ソフトマター

ソフトマター、生命生物、金属、その他 各分野ユーザ数に応じ2名程度まで

川端先生(首都大、ソフトマター)移動により退任

以上 任期2年程度で交代(活動活性化のため多くの方に参加いただく)

[顧問] 平井光博先生、 櫻井伸一先生

2020年4月段階 SAXS(BL6A,10C,15A2)

有効課題数 G94、BINDS25 計119 ユーザー数 約300名

6月下旬のPF試験運転に関して（清水）

- 施設側からの説明
- ユーザ状況のアンケートの結果

リモート実験、訪問実験

第二期の注意事項など

- COVID19対応
 - 1) 来所前手続き(特にRIについて厳格に。)
 - 2) 監視員室前に「銀行などにある受付番号札で
順番待ち」
 - 3) 個人ごとのRI安全教育(ビデオの代わり)必要。
(専用タブレット貸し出し)
 - 4) カードと線量計受け取り
- 入構手続き: 第一期から一部変更
 - 1) 来所人数: 必要最低限(2名の限定は解除)
 - 2) 筑波キャンパス入稿時に誓約書提出。来訪登録システムは不要に
 - 3) 一般安全教育は事前受講が必須に。
 - 4) マスクor フェースシールド着用(個室以外)

第二期以降について

- II期 10/21-12/22
- III期 2/8以降、未定 年間トータル～2500hを目指す。

<第二期以降の施設側の方針など>

PFシンポジウムに関して

- 今回は前年度(2019)の報告。今年度の分は2021年3月オンライン開催。
- UA規約の英語表示
- 次期会長(東大高橋先生)と11月～運営委員選挙
- PACグループの再編成など
- 将来計画(KEK-LSとハイブリッドリング)

- 量子ビーム連携研究センター→発掘型共同利用など
新しい枠組みを作る。
*マルチプローブの課題をエキスパート、スタンダード、発掘型などに分け、有効期間などに変化をつける。

2.SAXS-UG規程の改訂について

- PFのUA規程に関する提案(@PFシンポ)への対応
(規程の英訳を作る) →SAXSUGにも必要か？

背景; UA役員選挙で海外(英語)投票の実績があった。→規定が日本語だけなのは問題？

PFUAのスタンス:

一 実ユーザの中で非日本語ユーザの割合が一定数になったら本格的に考える。とりあえずはメインの部分のみ英訳を業者に依頼する。規約の変更ではなく、表現方法のバリエーションなので総会での承認は現段階では不要という立場

SAXSUGはどうか？ 時期尚早？ 一部英訳？(あまり手間をかける意味は？)

将来計画関連

1. BLのスクラップ&ビルドに関する委員会(清水
→PF内部の各分野から)

「これまでできていたことができなくなる、というやり方は極力避けたうえで、新しいものを」(船守)

2. 将来計画(リング)

KEK-LS

ハイブリッドリング(原田氏PFシンポ資料)

ユーザーからの提案・要望事項など

- 活動内容
- 研究会 → 次の締め切りは1月のPACに。
- 講習会

質疑

- ハイブリッドリングは実際どの部分からどのようなスケジュールで組みあがっている想定か？

- リモートへのシフト(受託も)は恒久的な財源(特に人件費)がないとPFスタッフに一方的な負担が増えるのでは？

- 研究会、講習会 → UAの補助可？

- 新リングと現在のリングの維持改良の関係 → 維持改良はすでに概算要求を進めている。新リングは10年先を見据えたもの。